

エイヌス、高い操作性

SIMフリースマホ

通信会社を自由に選べる「SIMフリー」のスマートフォン（スマホ）で、中台メーカーの製品が存在感を増している。端末価格と性能の費用対効果を売りにしており、大手携帯会社から回線を借りる仮想移動体通信事業者（MVNO）の割安な通信プランとあわせて使えば、より手軽にスマホを楽しめる。台湾・華碩電腦（エイヌス）、中国・華為技術（ファーウェイ）、中国・中興通訊（ZTE）の製品を専門家に評価してもらったところ、エイヌスが最も高い評価を得た。

評価は実売価格が3万円以下で、高速通信サービス「LTE」が使える機種を選んだ。組み合わせで使う通信に必要な月額料金は38・7円だった。中で「OCN モバイルONE」の月額972円で1日70分（メは100分）を利用できるサービスを使った。

「OCN モバイルONE」の月額972円で1日70分（メは100分）を利用できるサービスを使った。各項目の平均評価を合

ZTE 屋外でも見やすく ファーウェイ 設定スピーディー



（OS）「アンドロイド」の標準的な画面構成を踏襲しているため、村元正剛氏は「迷わず操作できるほか、初心者向けのホーム画面も用意されている」と評価した。近藤則子氏はデザインについて「安っぽくなく、触感や

外観が一番良い」とした。一方で「設定のしやすさ」については、横田英明氏が「エイヌスのサービスへの登録画面が続く」と手間のかかる点を指摘した。ただ登録さえ済めば、5ギガ（ギは10億）のクラウド型データ保管サービスが無料で利用できるなど「エイヌスの独自のサービスが使える」（横田氏）メリットもある。ファーウェイの「Ascend（アセンド）G620S」は、設定のしやすさがほかの2製品を上回った。村元氏はSIMカードの挿入で「カバーの着脱がしやすく、差し込み位置も分かりやすい」とした。さらに設定の際、主要なMVNOが表示されるなどして「最もスピーディーに接続できた」という。

性能と機能では、音量キーをダブルクリックするだけで「約1・4秒でカメラが起動して撮影できる」（横田氏）、「撮影メニューが充実している」（村元氏）との声があった。一方、複数のアプリ（応用ソフト）を使っている「アプリの切り替えがワンテンポ遅れる印象がある」（横田氏）（川名如広、小泉裕之）

エイヌス ZenFone(ゼンフォン)5	ファーウェイ Ascend(アセンド)G620S	ZTE Blade(ブレード)Vec 4G
総合評価(50点満点)		
38.7	37.0	33.0
<p>性能と機能 10 8 6 4 2</p> <p>操作性</p> <p>設定のしやすさ</p> <p>本体の質感とデザイン</p> <p>価格の妥当性</p>	<p>性能と機能 10 8 6 4 2</p> <p>操作性</p> <p>設定のしやすさ</p> <p>本体の質感とデザイン</p> <p>価格の妥当性</p>	<p>性能と機能 10 8 6 4 2</p> <p>操作性</p> <p>設定のしやすさ</p> <p>本体の質感とデザイン</p> <p>価格の妥当性</p>
<p><商品概要>①価格 ②大きさ(縦×横×厚み) ③重さ ④画面サイズ ⑤カメラ画素数(メイン、内側) ⑥バッテリー容量 ⑦駆動時間(連続通話、連続待ち受け)</p>		
<p>①2万6800円(税別)</p> <p>②148.2×72.8×10.34ミリ</p> <p>③145㍉ ④5型</p> <p>⑤800万、200万</p> <p>⑥2110ミリ時</p> <p>⑦1230分、395時間</p>	<p>①2万3000円前後(実勢)</p> <p>②142.9×72.1×8.5ミリ</p> <p>③約160㍉ ④5型</p> <p>⑤800万、200万</p> <p>⑥2000ミリ時</p> <p>⑦12.5時間、300時間(LTE)</p>	<p>①2万9800円(税別)</p> <p>②142.3×70.4×7.8ミリ</p> <p>③132㍉ ④5型</p> <p>⑤800万、100万</p> <p>⑥2300ミリ時</p> <p>⑦600分、340時間</p>

編集プロダクション・ゴイ

フリーライター・編集者。モバイル関連の

高年齢者のネット活動を支援する老研研会

総務省の審議会委員を務める。

村元正剛氏(むらもと・まさかた)

近藤則子氏(こんどう・のりこ)

横田英明氏(よこた・ひであき)

MM総研取締役。携帯電話

電話をはじめIT分野の調査・分析に従事し、有識者として政府の研究会にも参加している。(五十音順)

▼評価点数の計算法

各項目を10点満点で評価してもらい、商品ごとに平均値を計算した。